



なごあるきコース② 明治の風情をめぐる～名古屋発展の礎、円頓寺界限～



明治の風情をめぐる　～名古屋発展の礎、円頓寺界限～

かつては「南の大須に北の円頓寺」と盛り場の代名詞になっていた円頓寺商店街。円頓寺の門前町として、明治半ばに今のような筋になりました。現在の三つの商店街は東西に一キロ以上続きます。各商店街に、それぞれの物語があり、風情があります。

この地域はものづくりの町としても有名です。ノリタケやトヨタグループの発祥の地である他に、シヤチハタなど皆さんにとって身近な物もこの地で生まれています。どこか懐かしく下町ならではのコースを堪能して下さい。

＜おすすめコース＞	
★ 国際センター駅（2番出口）	徒歩 10分
⑥ 円頓寺（円頓寺商店街内）	徒歩 20分
⑩ ノリタケの森	徒歩 10分
⑪ トヨタ産業技術記念館	徒歩 5分
★ 栄生駅	
距離：約 3.0km 所要時間：約 45分	

1 屋根神様

屋根神様は、津島神社・秋葉大社・熱田神社を祀っています。一日・十五日が月次祭つきなみさい。

屋根の上に祀られた社は、名古屋周辺に見られ、特に西区に多く残っています。軒神様とも呼ばれます。

2 子守地蔵尊

井戸をささったときに発見したと伝わる、30cmほどのお地蔵様が祀られています。

八月二十三日・二十四日の大祭には、提灯や行灯が一带に飾られ、とても雰囲気があります。

3 勝利亭

店名の由来は、「日露戦争に勝った」からだそう。先代がフランス人から伝授された、デミグラスソースをベースにした「ミヤビヤ」はここでしか味わえない。

＜営業時間＞
11:30～14:00
17:00～20:00
(水曜休)

4 名鉄堀川駅跡

明治四十四年に開業、瀬戸電気鉄道（現・名鉄瀬戸線）の駅。瀬戸の陶器を、堀川の水運を利用して全国へ運ぶ際に重要な拠点駅でした。

「お堀電車」として親しまれましたが、昭和五十一年をもって廃止されました。

5 野田仙

明治二十六年創業の下駄屋創業当時、芸子さんに人気の店だったといわれています。現在、オリジナルブランド「野田仙久路里」を立ち上げ下駄の魅力伝えていきます。

＜営業時間＞
10:00～18:00
(水曜休)

6 円頓寺

一六五四年に創建、一七二四年に現在の地に移りました。本堂脇に、徳川義直公により寄進された、女性と子供の神様とされる鬼子母神像が安置されています。毎月十八日に公開。

五月十八日は大祭。

7 中京菓子問屋

明道町は、全国でも有名な駄菓子子の町です。多いときには、メーカーや問屋が四百店近くあったそうです。

大正十二年の関東大震災の際には、首都圏の菓子の供給も担っていました。

平成十五年に閉鎖。

8 多賀宮

延命と縁結びの神様といわれています。境内には、願いが叶うかを占う「おもかる石」があります。

現在では、恋愛成就のため、携帯ストラップを結んでいく人が増えています。

9 那古野車庫跡

明治三十三年、日本で二番目の電気鉄道として開業した名古屋電気鉄道（現・名鉄の本社・車庫があった場所です）。

後年は市バスの車庫として活用されていました。

現在はプライムセントラルの一角にナゴノスペースがあります。

10 ノリタケの森

近代陶業発祥の地。平成十三年に創業一〇〇周年を迎え、できたのが「ノリタケの森」です。

広い敷地には、時代を伝える高い煙突がいくつも並び、木々が植えられる、憩いの場となっています。

＜開館時間＞
10:00～17:00（月曜休館）

11 トヨタ産業技術記念館

トヨタグループ発祥の地。大正時代に豊田佐吉氏により開設。当時の豊田紡織工場の姿を残す赤レンガ造りの建物。特徴的なのは、館内には「織機機械館」「自動車館」「テクノランド」にわかれ、「ものづくり」の宝庫です。

＜開館時間＞
9:30～17:00（月曜休館）

円頓寺商店街

円頓寺商店街、円頓寺本町商店街、西円頓寺商店街の三つからなるこの商店街は、円頓寺の門前町として、明治中頃から発展したといわれています。

夏には七夕まつりが開催され、大勢の人で賑わいます。